

## 一 般 質 問 通 告 表

平成29年第3回始良市議会定例会 < 9月4日(月) 午前10時 ~ >

| 氏 名      | 質 問 事 項                      | 質 問 の 要 旨  | 質問の相手        |
|----------|------------------------------|--|--------------|
| 1. 田口 幸一 | 1. 始良市の地方債発行と一般財源について        | <p>始良市複合新庁舎建設は、合併推進事業債を活用することだが、その見通しはどうなっているのか。</p> <p>合併推進債事業債は期限が限られていると考えられるが、いつまでか。</p>   | 市 長<br>教育委員長 |
|          | 2. 企業債について                   | <p>水道事業を運営するには企業債を活用すると考えるが、老朽管更新、配水池の築造等の計画はどのようになっているのか。</p>   | 市 長          |
| 2. 湯川 逸郎 | 1. 始良市総合計画の後期基本計画について        | <p>始良市総合計画の後期基本計画において「都市計画道路は、計画決定後長期にわたり整備されず、決定時の状況と環境が著しく変化しているため、将来の都市像と整合した都市計画道路網になるよう見直しを行っています。」と示されているが、見直しを行った都市計画道路の位置等の内容と今後の対策を示せ。</p>  | 市 長          |
|          | 2. 加治木港周辺を活用したまちづくりと機能強化について | <p>平成25年3月議会で、加治木港周辺を活用したまちづくりと機能強化について質問した。</p> <p>合併前の加治木町総合振興計画で観光資源の整備に努めると示されており、新市において海釣り公園構想は総合計画には盛り込まれておらず、加治木港や黒川など海に親しまれる貴重な空間は、市民の憩いの場であると同時に観光的な面からも研究していきたいと答弁されているが、その後、加治木港周辺の機能強化を図るうえでどのように進められているのか、具体的に問う。</p> | 市 長          |

| 氏 名      | 質 問 事 項                               | 質 問 の 要 旨  | 質問の相手       |
|----------|---------------------------------------|--|-------------|
|          | 3. 資源物の取り扱いについて                       | <p>市長は、市長選挙に出馬された際、資源物等の改善を重点項目として掲げられ、多くの市民の方々も期待をされていたことと思う。</p> <p>改善されたものは、これまで計量廃止のみで、弱者対策など改善されていない。</p> <p>今回は特に、平成22年度と28年度を比較した資源物取扱いの推移と契約関係及び事業実績に基づいた「資源物収集実績・リサイクルセンター中間処理経費・資源物運搬経費・資源物売り上げ実績」の4点について、具体的に問う。</p>  | 市 長         |
| 3. 和田 里志 | 1. 始良市の財政状況と複合新庁舎建設関連及び監査委員の助言機能等について | <p>今定例会においては、平成28年度の始良市歳入歳出決算認定の議案が提出され、併せて監査委員の意見書も提出された。</p> <p>監査委員の決算審査意見書等は、利用者に決算等の信頼性についてその「保証」を与えるもので住民の決算等理解に役立つだけでなく、それを認定するかどうかについて議会の意思決定情報として用いられている。</p> <p>また監査委員にはこの保証機能だけでなく、広範な意見（助言）を求められており、特にこの助言機能については住民の期待も高いと思われる。</p> <p>そこで本市の現在の財政状況、将来の見通し、その認識等について以下のとおり問う。</p> <p>(1) 合併後、本市の財政状況はどのようになり、変化してきたか。</p> <p>(2) 内閣府の月例経済報告（7月）では、「景気は緩やかな回復基調が続いている。」としているが、本市において市税等の収入及び景気動向をどのように認識しているか。</p> | 市 長<br>監査委員 |

| 氏 名 | 質 問 事 項                        | 質 問 の 要 旨   | 質問の相手      |
|-----|--------------------------------|---|------------|
|     | <p>2. (仮称) 財政運営の基本条例制定について</p> | <p>(3) 現在の始良市の負債（借金）及び基金（積立金）の総額と一人当たりの換算額はそれぞれいくらか。</p> <p>(4) 決算金額に見えない債務・経費（例、債務負担行為・長期継続契約等）の負担についてはどのようになっているか。</p> <p>また、それらの年間支払額と残高はいくらか。</p> <p>(5) 監査委員が提出した28年度 決算審査意見書の中で、その主な意見(助言)の内容について問う。</p> <p>(6) 現在通算2期にわたる代表監査委員（識見）として、これまで特に留意してきた審査内容と所感について問う。</p> <p>(7) 今後複合新庁舎建設等に伴い、財政状況はどのようになっていくと認識するか。</p> <p>その中長期的な展望と財政計画はどのようになっているか。</p> <p>(8) 複合新庁舎建設について、特に加治木・蒲生の総合支所庁舎の整備について、市長自身の基本的な考え方と事務所設置方式及び出張所等のあり方についてその考えを問う。</p> <p>地方公共団体の財政運営については、その基本原則をそれまでの内部管理から新たな義務づけを含めて公開・公表し、首長・議会・住民が守るべき自治の原則として法制度化し、財政の健全化を目指す又は維持するための仕組み（仮称）「財政運営の基本条例」を制定している自治体が増えている。</p> <p>計画的な財政運営の仕組みを構築し、将来世代に過度な負担を残すことのない安定した財政運営を確保し、市民の福祉</p> | <p>市 長</p> |

| 氏 名      | 質 問 事 項  | 質 問 の 要 旨  | 質問の相手                           |
|----------|--|--|---------------------------------|
|          |  | <p>の向上に寄与するため、本市でも必要と思うがどう考えるか。</p>  |                                 |
| 4. 鈴木 俊二 | <p>1. 地元商工業の振興について</p> <p>2. 公共工事の選定における総合評価方式（特別簡易型）の導入について</p> | <p>第一次始良市総合計画によると、雇用対策として、ふるさと雇用再生特別基金事業や緊急雇用創出事業臨時特例基金事業などを行い、就業機会の創出に努めてきた。しかし昨今、雇用状況は大きく変わり、全国的に人手不足といわれているが、以下に問う。</p> <p>(1) 人手不足の状況についてどのように把握しているのか問う。</p> <p>(2) 支援についての考えを問う。</p> <p>(3) 外国人技能実習制度について市の考えを問う。</p> <p>近年公共工事が減少していく中、価格競争の激化による公共工事の品質低下が問題になっているとのことで、価格だけでなく企業の技術力や経営力を総合的に評価し落札者を決定する総合評価方式（特別簡易型）を試行するとのことであるが以下に問う。</p> <p>(1) 総合評価方式の導入にあたっての考えを問う。</p> <p>(2) 総合評価方式の試行状況を問う。</p> <p>(3) 本市での問題となっている品質の低下した工事はどの程度あるのか現状・内容を問う。</p> <p>(4) 落札率と工事中又は施工後の市民からのクレーム率の関係を示せ。</p> | <p>市 長<br/>教育委員長</p> <p>市 長</p> |
| 5. 本村 良治 | 1. 学校現場の働き方改革の促進   | <p>先の文科省の報告によると、公立小中学校教諭の週当たりの学校での勤務時間は平均して63時間18分で、57.7</p>   | <p>市 長<br/>教育委員長</p>            |

| 氏 名 | 質 問 事 項                | 質 問 の 要 旨  | 質問の相手      |
|-----|------------------------|--|------------|
|     | <p>2. 災害時の情報発信について</p> | <p>パーセントが「過労死ラインの」勤務状態にあると報告がなされた。</p> <p>(1) 始良市における公立小中学校の勤務実態はどうなっているか。具体的に数字を挙げて説明せよ。</p> <p>(2) このような学校現場を直視して、教育の根幹についてどのようなことが必要であると考えるか。</p> <p>(3) 現在の教育現場にはどのような課題があると考えるか。</p> <p>(4) それらの課題を克服するためにどのような施策を推進しているか。課題別に具体的に説明せよ。</p> <p>(5) 学校衛生委員会はこれらの課題にどのように関わっているか。</p> <p>(6) 最近の通知により毎月1回の衛生委員会の開催が要請されている。現場の実態はどうなっているか。</p> <p>(7) 衛生委員会を通しての課題はどの課で対応しているか。対応の例を具体的に挙げて説明せよ。</p> <p>(8) これらの課題を総括的に議論し、予算要求に結びつけるために、教育委員会内に総括衛生委員会を設置してはどうか。</p> <p>地球温暖化による異常気象により、日本全国いたるところでゲリラ豪雨が頻発している。先日の福岡県や大分県での甚大な被害では多くの尊い人命が失われた。復興は長い時間と多くの人手と予算が必要なことは言うまでもない。このような災害は我が始良市でも起こる可能性は大きいと考える。このような時こそ全市民へ緊急情報を正確に伝え、市民の生命と財産を守るのが笹山市長の使命と思う。</p> <p>(1) 緊急情報を早く、そして正確に</p> | <p>市 長</p> |

| 氏 名 | 質 問 事 項                  | 質 問 の 要 旨   | 質問の相手      |
|-----|--------------------------|---|------------|
|     | <p>3. 地域公共交通のさらなる改善を</p> | <p>全市民に伝え、災害に備えるためにどのような方法を利用しているか。</p> <p>(2) その正確さについて、現在の方法についてどのような認識を持っているか。</p> <p>(3) 近隣自治体はどのような方法で情報伝達を行っているか。伝達手段について具体例を挙げて説明せよ。</p> <p>(4) 始良市は各家庭に情報を正確に伝えるために、防災ラジオを設置する考えはないか。</p> <p>(5) あいらびゅーFMとの連携についてどのように考えているか。具体的に説明せよ。</p> <p>始良市はいろいろな社会インフラも整備され、鹿児島県の中心的な位置にあり、それなりの風格も備わってきた。しかし、市民の足としての公共交通の更なる整備の必要性を求める市民の声をあちこちで聴く。</p> <p>(1) 地域公共交通会議の議論の経過を具体的に説明せよ。特に路線見直しを含めて説明せよ。</p> <p>(2) 高齢者や免許証返納者等の交通弱者の日常生活の向上のために更に路線を検討し、公共交通を充実させることも早急に施策として急ぐべき課題ではないか。このことについて市長の見解を求める。</p> <p>(3) 市民の福祉向上のために公共施設・病院の近辺にバス停を増設する考えはないか。</p> <p>(4) 免許自主返納者に対して優遇制度を創設してはどうか。</p> <p>(5) 循環バスの小型化は検討できないか。</p> | <p>市 長</p> |

